

A—1 学校研究

1 学校研究について

(1) 研究主題

自ら考え、自ら学ぶ子どもの育成をめざして
～活用力の育成を中心として～

(2) 主題設定の理由

本校では平成17年度から、表現力の育成を目指して、研究主題を「自ら学び、豊かに自己表現していく子どもの育成をめざして」、副題を～国語科の「書くこと」を中心として～、19年度からは～書く活動を中心として～とし、言語表現力の基礎としての文章表現力の育成を中心として研究を推進してきた。

この間、教育を取り巻く状況も大きく変化し、教育基本法、学校教育法が改正され、また、本年3月には新学習指導要領が告示された。学校教育法では、「基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養うことに、特に意を用いなければならない。」と示されている。さらに、新学習指導要領では、「各教科等の指導に当たっては、児童の思考力、判断力、表現力等をはぐくむ観点から、基礎的・基本的な知識及び技能の活用を図る学習活動を重視する。」と、活用する力を重視する方向が打ち出されている。

こうした中であって、本校の子どもたちは全国学力・学習状況調査及び県基礎学力調査では、基礎的・基本的な知識・技能は概ね良好であるが、知識・技能を活用する力、文章や図・表等を理解し、それを活用する力は、全国や県と同様な傾向が見られ、文章を読み取る力、情報をもとに予想する力、考えをまとめて記述する力等が課題として挙げられる。

そこで、今年度より「活用力」育成を研究の中心に据え、体験や既習の知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等の向上を目指すことにした。

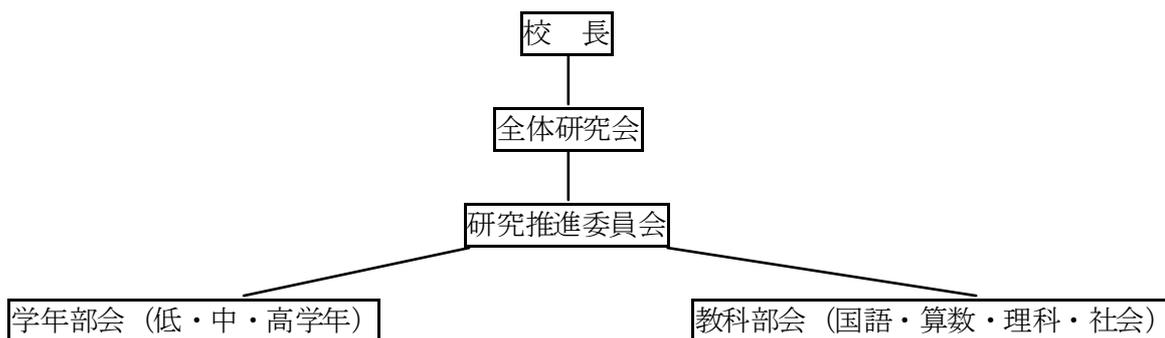
(3) 研究仮説

各教科において、基礎・基本の習得を図ると共に、子どもたちが主体的に参加できる授業を工夫し、自ら課題解決する力を育てていけば、活用力が身に付くであろう。

(4) 研究の方向

- ①子どもたちの学習意欲を喚起する授業づくりをする。
- ②子どもたちが主体的に取り組み、思考、判断、表現できるような、指導内容、指導過程、教材を工夫する。
- ③各教科の基礎・基本となるものを把握し、系統的に指導にあたることによって、基礎・基本の習得を図り、活用力を育成する。
- ④学習活動の基盤となる言語力を高めるための、記録、要約、説明、論述の活動に取り組む。

(5) 研究組織



- ・全体研究会・・・研究内容、方法の検討、共通理解等、授業づくりの検討
- ・研究推進委員会・・・研究内容、方法及び日程の提案、各部会の連絡調整
- ・各学年部会・・・各部会での実践研究、研究内容の検討、授業づくりの検討等
- ・各教科部会・・・教科ごとに研究方法・内容の検討、県基礎学力・全国学力学習状況調査の状況分析と改善策の検討等

(6) 具体的取り組みについて

① 導入の工夫

研究の方向①「子どもたちの学習意欲を喚起する授業づくり」の具体化として、「導入の工夫」に取り組むことにした。導入を工夫することによって児童の興味・関心を引き起こし、児童が主体的に授業に取り組む姿勢が身に付いていくのではないかと考えた。取り組みにあたっては、単に興味・関心を引き起こすだけでなく、次の4点に留意して取り組んでいくことにした。

- ・児童の身の回りにある生活と結びついた素材の選択と提示方法を工夫する。
- ・前時や既習事項とのつながりを考える。
- ・その教科の基礎・基本との関連を考え、基礎・基本を生かしていくようにする。
- ・単元の導入のときは、その単元全体が把握でき、ゴールが見えるような導入を工夫する。

② 表現力の育成 → 学習の足あとが見えるノート指導

研究の方向②「思考、判断、表現できる指導内容、指導過程等の工夫」、④の言語力の育成に関しては、各教科でノート指導を通して取り組んでいくことにした。ノートは最終的には表現力の育成だが、その過程においては、思考力・判断力や情報処理能力が必要とされ、活用力=知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等が総合的に育成されていく場である。また、ノートは児童にとっては、その日の学習の思考の流れを自分の目で確認しながら振り返ることができる。また、教師にとっても、それらのノートは授業の指導内容、指導過程等を検証できるものになると考えた。

そこで、教科ごとに効果的なノート指導を検討し、次のような形式でノート指導に取り組んだ。

<ノート指導例> ・基本的に見開き2ページ	
[国語]	問題・課題 → 自分の考えを持つ → 学び合う → まとめる → ふりかえり
[算数]	問題・課題 → 自力解決 → 学び合う → まとめる → 練習 → ふりかえり
[理科]	問題・課題 → 予想 → 理由 → 実験・観察 → 結果 → 考えたこと
[社会]	問題・課題 → 予想 → 調べる → 学び合う → まとめる → ふりかえり

③ 4教科の「基礎・基本」の洗い出し

活用力の育成には、まず各教科の「基礎・基本」となるものを把握し、系統的に指導していかなければならないと考え、各教科部会で活用力育成のための基礎・基本となるものを検討した。

<国語> 文章を的確に読む力をつけていくこと → 説明文の指導

<算数> 領域ごとの基礎・基本を明確にし、問題解決学習→算数的活動を重点的に指導

<社会> 地図とグラフ、資料の読み取り

<理科> 科学的概念の習得